

付録 8. IPアドレス、利用者コード、
メールボックスID、パスワード
の関係について

付録8 IPアドレス、利用者コード、メールボックスID、パスワードの 関係について

利用者コード、識別番号、パスワードについては、NACCSセンターが発給・管理・運営を行う。IPアドレス、メールボックスID、メールボックスパスワード、論理端末名、端末アクセスキーは、すべてNACCSセンターが一括して発給し管理する。

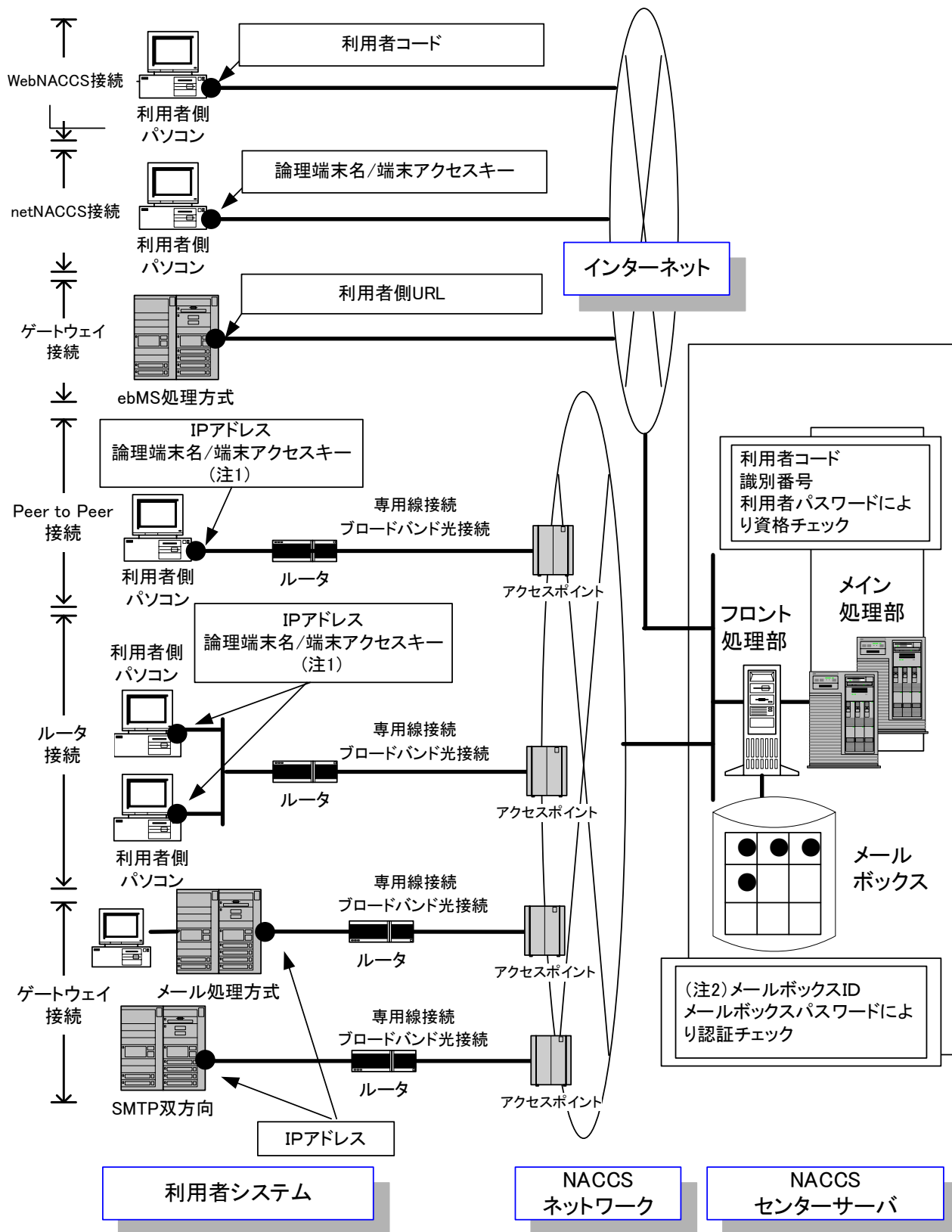
付表8-1に、IPアドレス、利用者コード、メールボックスID、パスワード、論理端末名、端末アクセスキーの内容を示す。付表8-2と付図8-1に、接続形態とIPアドレス、利用者コード、利用者パスワード、メールボックスID、メールボックスパスワード、論理端末名、端末アクセスキーの関係を示す。

付表 8-1 IP アドレス、利用者コード、メールボックス ID、パスワード、論理端末名、端末アクセスキーの内容

項目	目的	内容	対象
IP アドレス	ネットワーク接続用	NACCSにおいては、セキュリティ上、プライベート IPアドレスを採用する なお、プライベートIPアドレスは、利用者コード、パスワードとは無関係である IPアドレスは、利用者形態により以下のように付与される ①Peer to Peer接続 ルータ、利用者側パソコン ②ルータ接続 ルータ、利用者側パソコン ③ゲートウェイ接続 ルータ、利用者側ゲートウェイコンピュータ	インタラクティブ ／メール
コ 利 用 者 ド 者	業務処理用	利用者区分単位に付与される	インタラクティブ ／メール／ebMS 処 理方式／WebNACCS 処理方式
メ ー ル ボ ッ ク ス I D	メールボックスア クセス用(電文受信時)	利用者は2つのID(利用者コード+識別番号、メールボックスID)を使用する 利用者+識別番号とメールボックスが多:多の関係となる (この場合、メールボックスの共有が出来る)	メール
パ ス ワ ー ド	業務処理用	①利用者パスワード 利用者コード+識別番号単位に付与される 利用者コード+識別番号、利用者パスワードで業務資格のチェックを行う	インタラクティブ ／メール／ebMS 処 理方式／WebNACCS 処理方式
	メールボックスア クセス用	②メールボックスパスワード メールボックスに1対1に付与される メールボックスID、メールボックスパスワードでメールボックスのアクセス認証を行う	メール
端 論 末 理 名	業務処理用	端末単位に付与される	インタラクティブ ／ebMS 処理方式
ア 端 末 ク セ ス キ ー	インタラクティブ (パッケージソフトのみ)における 端末出力型帳票の 取り出し用	論理端末名単位に付与される	インタラクティブ (パッケージソフトのみ)

付表 8-2 接続形態と IP アドレス、利用者コード、利用者パスワード、メールアドレス、メールアドレスパスワード、論理端末名、端末アクセスキーの関係

	Peer to Peer 接続	ルータ接続	ゲートウェイ 接続 (メール処理方式 /SMTP双方向)	netNACCS 接続	ゲートウェイ 接続 (ebMS 処理方式)	WebNACCS 接続
IP アドレス	ルータ、利用者側パソコンに付与される	ルータ、利用者側パソコンに付与される	ルータ、利用者側ゲートウェイコンピュータに付与される	—	—	—
利用者コード	利用者区分単位に付与される	同左	同左	同左	同左	同左
利用者パスワード	利用者コード+識別番号単位に付与される	同左	同左	同左	同左	同左
メールアドレス ID	—	—	1メールアドレスに1つ付与される	—	—	—
メールアドレスパスワード	—	—	1メールアドレスに1つ付与される	—	—	—
論理端末名	1論理端末単位に付与される	同左	同左	同左	同左 (利用者側URLごとに付与される)	— (付与しない)
端末アクセスキー	1論理端末単位に付与される	同左	— ※インタラクティブ処理方式 (パソコン用パッケージソフト) に対してのみ付与される	1論理端末単位に付与される	— ※インタラクティブ処理方式 (パソコン用パッケージソフト) に対してのみ付与される	— (付与しない)



- (注1) 論理端末名/端末アクセスキーはインタラクティブ処理方式（パソコン用パッケージソフト）に対してのみ付与される
- (注2) メールボックスID/メールボックスパスワードはメール処理方式を利用する場合のみ、付与される。

付図 8-1 接続形態と IP アドレス、論理端末名、端末アクセスキー、利用者コード、メールボックス ID、パスワードの関係図